

歩きとスキーのコラボ山行

## 南東北 南会津 中門岳周辺 山スキー

星野さんの声かけで、昨年に引き続き、南会津で歩きも山スキーのコラボ山行が成立。好天と美味しいつまみ、ビール、そして愉快的仲間たちとの楽しい山行となりました。もちろん、山スキーも、色々な雪を計 1800mの滑りを大満喫でした。

### 4月20日（土）：快晴

今年は残雪が多いという情報があった。が、下山口の下大戸沢を下見するとギリギリ沢沿いに雪が残っている程度の状況。苦勞しそうだがどうにかなるだろうと判断し計画通り大戸沢岳北東尾根から下大戸沢へ下山することとし、駒ヶ岳登山口に向かった。

登山口には車数台あり、準備中も続々と登山客が来る。登山口の直ぐ上から雪があり、好天のなか、ビール満載のザックに耐えながらスキーでグングン登る。4時間半で山頂へ。快晴の中、360度の展望を楽しむ。2週後に滑りに行く予定の奥利根の山々も真っ白、楽しみだ。

当初予定では中門岳周辺に幕場予定であったが、駒ヶ岳直下に幕。目の前の美味しそうな御神楽沢の源頭が気になる。荷物を置いて、シールを外すも、固い。。。少し北側にトラバースして沢形に滑り込むと、素晴らしい新雪。200mの滑りを楽しみました。その後、陽がある内から、歩きチームとしっかり懇親を深めました。

### 4月21日（日）：晴れ

雪が緩むのを待って、遅めの出発。何もない中門岳まではのんびり進む。予定では中門岳の北の1988から東尾根を下る予定だったが、天気が良いため気の緩みでそのまま北尾根を御神楽沢1340mまで滑ってしまった。雪質はザラメ化はしていないもののやや重の新雪で楽しく650mの大滑降を満喫。が、その後、登り直しで苦勞することになる。

沢はほとんど閉じているが、1550m当たりの滝は出ていて左から大巻、そのまま、トラバースしてムジナクボ沢に入り、沢の中を大戸沢岳北コルに進む。大戸沢岳は若干のトレースはあるものの、会津駒ヶ岳と異なり静か。360度の大展望を独り占め。

### 【日程】

2019年4月20日（土）  
～21日（日）

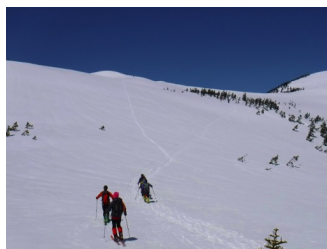
### 【メンバー】

長山（L）、野口、榎本

### 【地形図】

会津駒ヶ岳、檜枝岐

### 【記】長山



まず会津駒ヶ岳を目指す



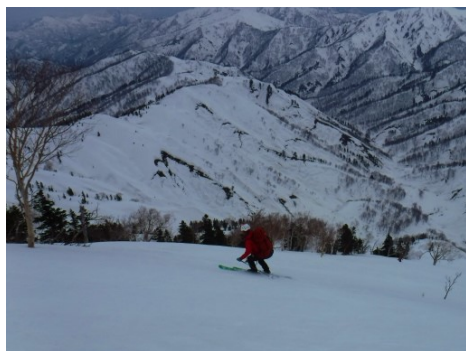
歩きチームと記念撮影



駒ヶ岳頂上直下に2張

大戸沢岳の北東の大斜面は素晴らしい。真っ白な斜面を、三岩岳を横目に大滑降。標高が高いため午後になっても雪質はまずまず。が、樹林帯に入ると激重の新雪くずれ雪で皆苦労しながら標高を下げる。また、尾根から見る沢は口が開いており、どこで沢にでるか見極めながら進む。今回は、比較的雪が残っている桑場小沢を經由して下大戸沢へ出た。基本残雪を繋ぎながら滑るものの、1000mで飛び石の徒渉、890mでは兼用靴のまま水深20cmをバシャバシャ歩いて徒渉し、スノーシェイドの横に下山。その後、サブリーダーがサンダルに履き替え車の回収に向かってくれました。

例年より雪が多く、また、ザラメ雪は無かったものの色々な雪質のスキーを満喫した、充実春スキー山行となりました。



中門岳から御神楽沢に 650m滑降



大戸沢岳大斜面を滑降



下大戸沢の徒渉

#### 【行程】

- 4/20 登山口 (7:30) ~ 駒ヶ岳 (12:05/12:35) ~ 北西コル C1 (12:50)、御神楽沢源頭滑り
- 4/21 C1 (6:20) ~ 中門岳 (7:05) ~ 御神楽沢 1340m (7:55) ~ 1550m (8:50) ~ (ムジナクボ沢) ~ 大戸沢岳 (12:20) ~ 北西尾根 1200m (13:50) ~ (桑場小沢) ~ 下大戸沢スノーシェイド (15:20)